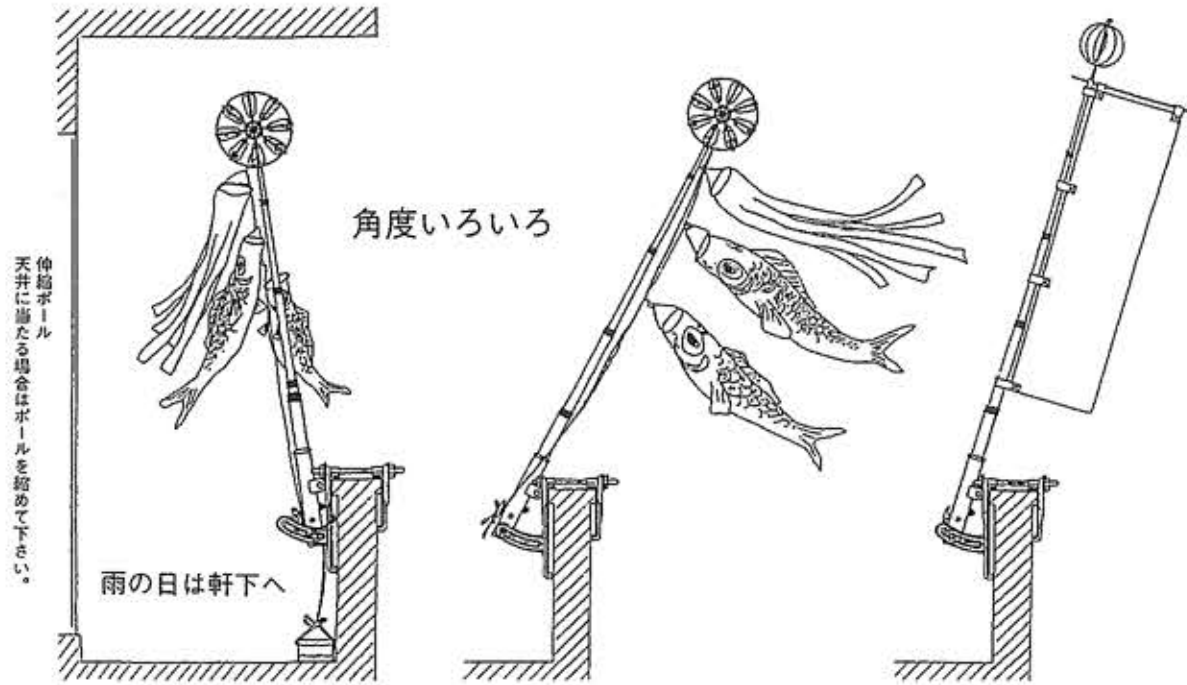


マルチポールホルダー

(実用新案 第3049732号)

どこでも簡単に取り付けができます

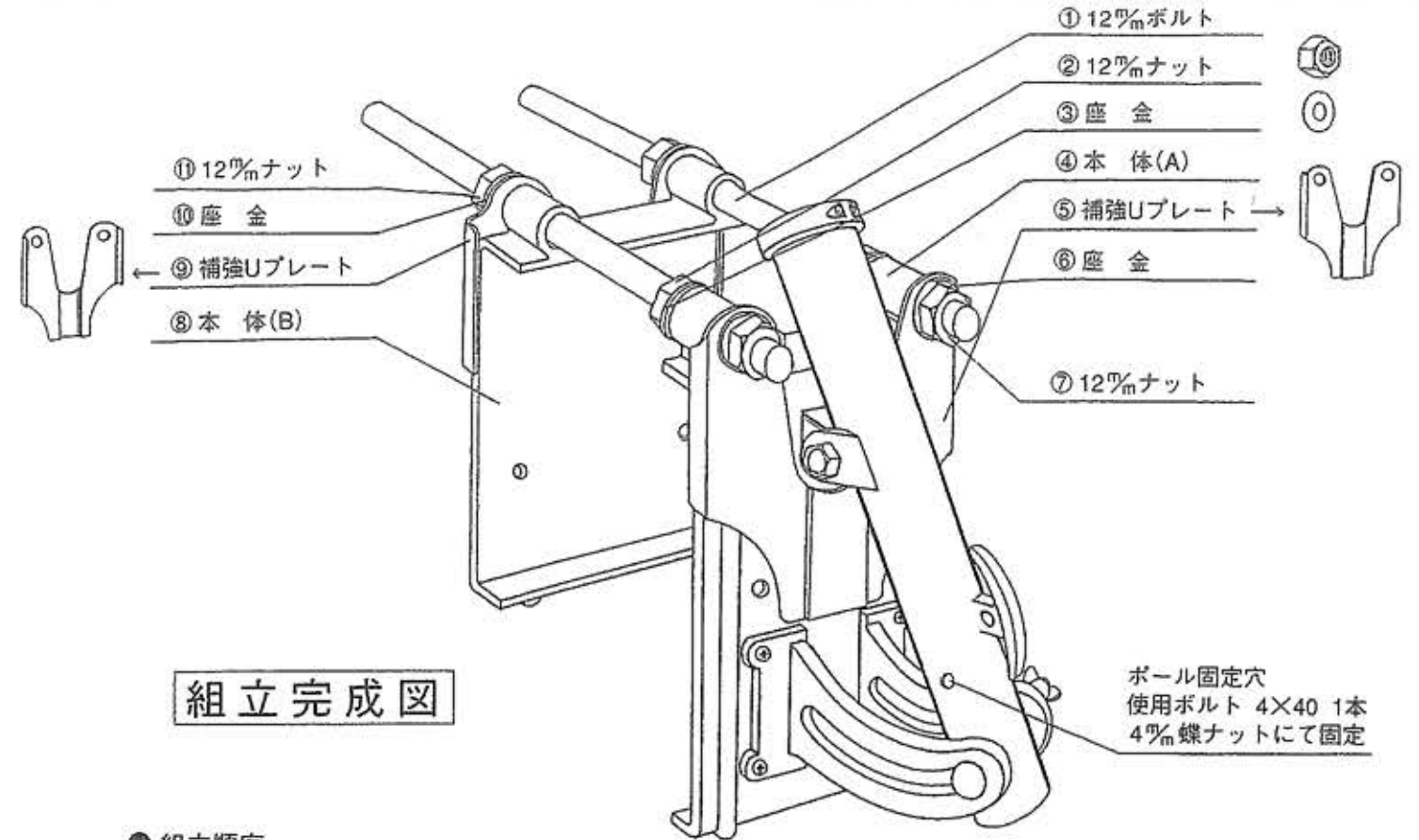
取扱説明書



部品内容 (お確かめ下さい)

本体 (A)	1ヶ
本体 (B)	1ヶ
ボルト 12×250	2本
ナット 12%	6ヶ
座金 12%	6ヶ
スパナ	1ヶ
補強Uプレート	2ヶ
(小)ボルト 6×100	2本
ナット 6%	2ヶ
透明シートPVC	1枚
(小)ボルト 4×40	1本
蝶ナット 4%	1ヶ

※裏面もご覧下さい。



組立完成図

● 組立順序

①番から⑧番まで図の様に組み付けできた時点で、②番と⑦番とでしっかり締めつけて下さい。
次に本体(B)の⑧番から⑪番まで番号順に組み付けて完成です。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 12%ボルト | ⑦ 12%ナット |
| ② 12%ナット | ⑧ 本体(B) |
| ③ 座金 | ⑨ 補強Uプレート |
| ④ 本体(A) | ⑩ 座金 |
| ⑤ 補強Uプレート | ⑪ 12%ナット |
| ⑥ 座金 | |

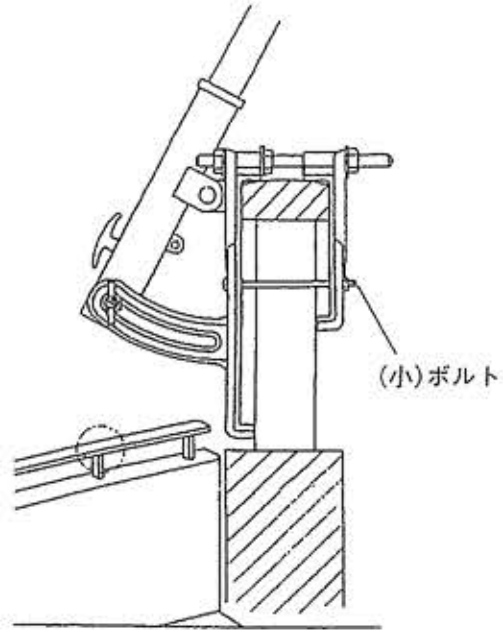
透明シートPVCは、ポールホルダーを取り付ける時に、手すり等に傷が付かないように間に挟んで下さい。

⚠ 注意 特に下記事項をよくお読みになって下さい。

- ホルダーをベランダに取り付ける前に(部品落下防止の為)、ホルダー組立完成図のように部品を全部組み立てから取付位置にかぶせるようにして取り付けます。
- ベランダ等に取り付ける時の注意事項は、ホルダー本体の取り付けに各種の形状が図のようにありますが、ホルダー本体(A)、(B)のプレートが垂直になるように図を参考の上、本体がグラグラしないようまで強めに締め付けて下さい。
- ホルダー本体はA、B、C、D図のように、(小)ボルトが使用できるベランダでは、必ず(小)ボルトも組み付けしっかり固定して下さい。
- コンクリートだけのベランダの場合は、別図コンクリート取付図を参照して下さい。
- ホルダーを取り付ける際は、ベランダから体を乗り出したり、付属品を絶対に落とさないように注意して下さい。また、下に人がいる場合の取り付けは避けて下さい。
- ホルダーの取り付けが完了しましたら、ポールを差込筒の横穴とポールの下の穴を合わせ、4%のネジで固定して下さい。
- どんな取り付けの場合でも必ずポールにはE図のように張網を張って固定して下さい。
- 高い所のベランダ、及び風当たりの強い場所では、安全の為ポールを短かめに縮めてご使用下さい。
- 鯉のぼりを掲揚期間中は、時々ポールホルダーの取り付けが緩んでいないか安全の為点検して下さい。
- ホルダーの取り外し時は、F、G図のように(小)ボルトを使用していないホルダーの場合、ナットを緩めてもホルダー本体が外れにくい場合がありますので、I図の説明通りに行ってください。

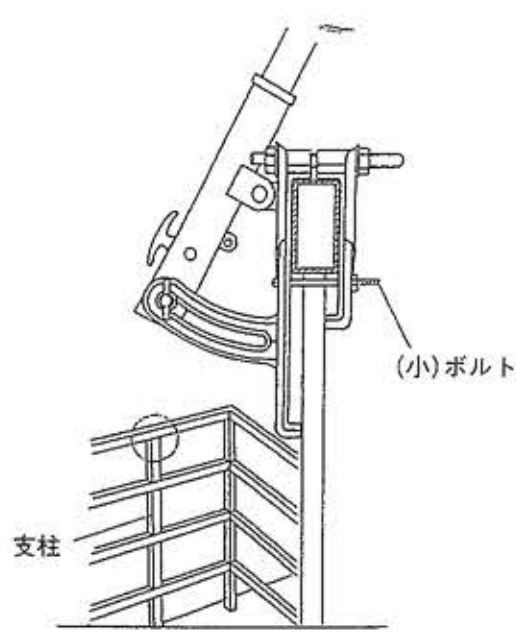
この説明書は次の時期のために保管して下さい。

A 図



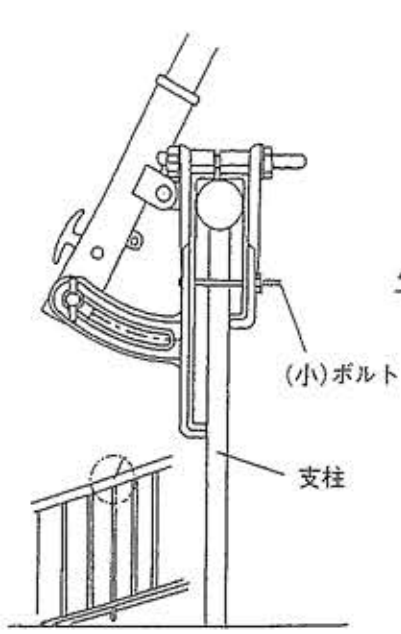
コンクリート製側壁の上の手すりの場合

B 図



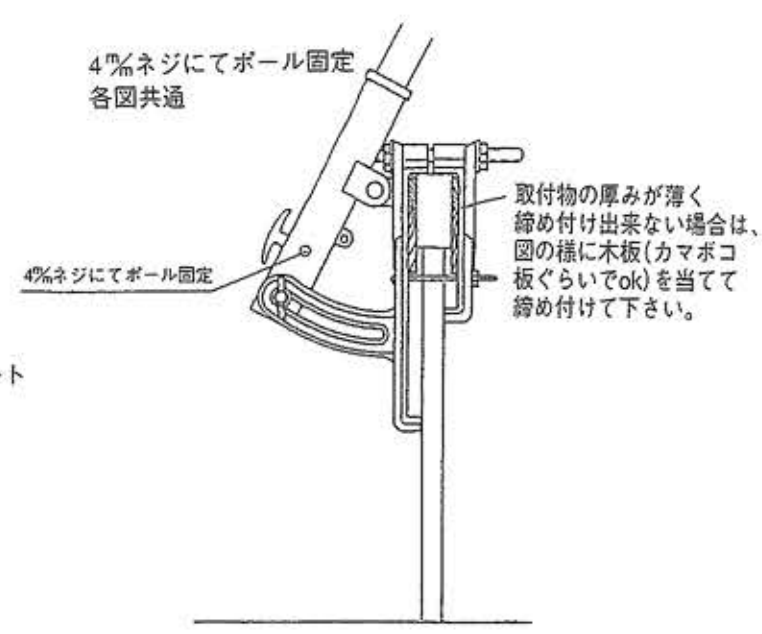
(取り付けやすい)手すりT字の所

C 図



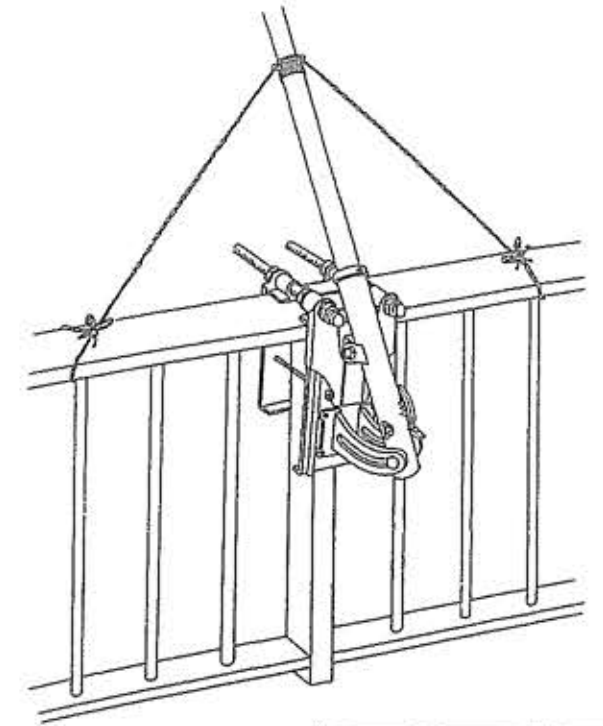
(小)ボルトはドライバーで締め付け 各図共通

D 図



4mmネジにてボール固定 各図共通

E 図

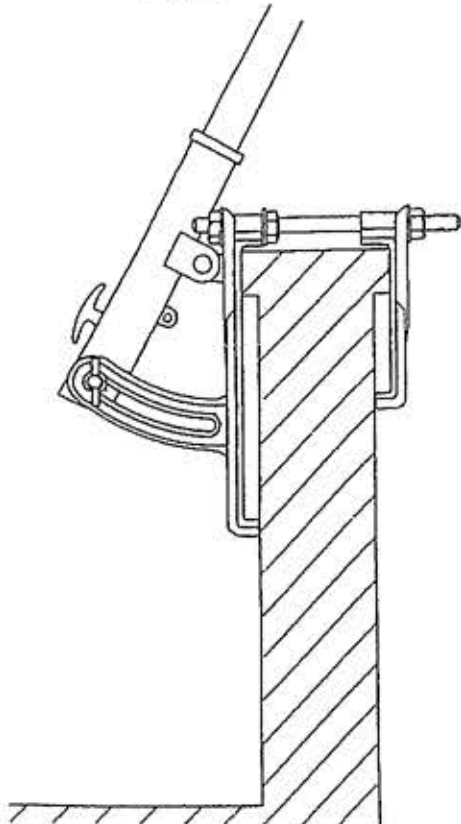


取付完成図

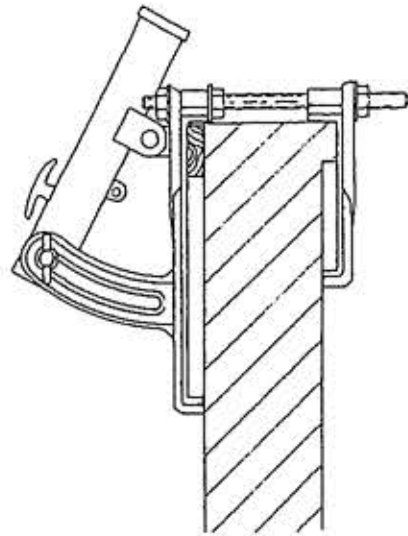
A, B, C, D各図のようなベランダフェンスの場合、図のように支柱を中心にして左右本体(A)、(B)の下の穴に(小)ボルトを必ず使用してしっかり固定して下さい。

コンクリート及びブロック製側壁への取付図

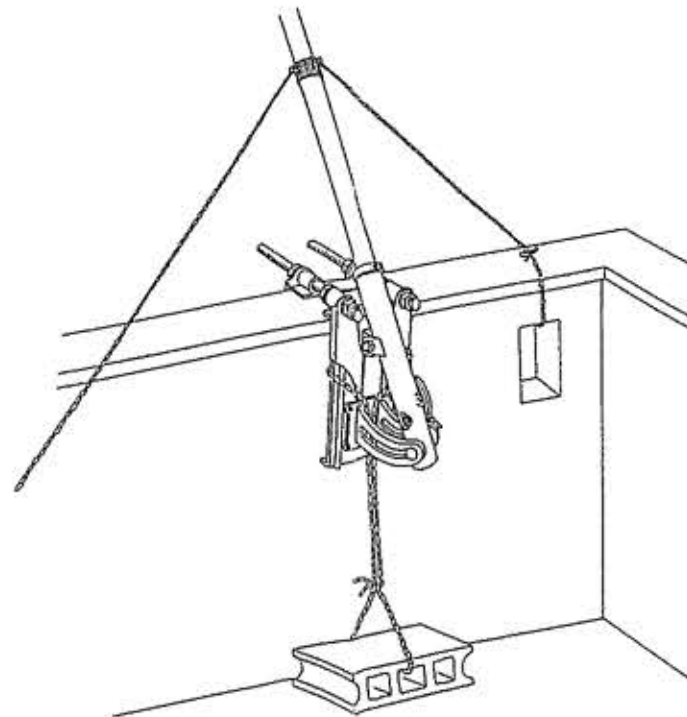
F 図



G 図

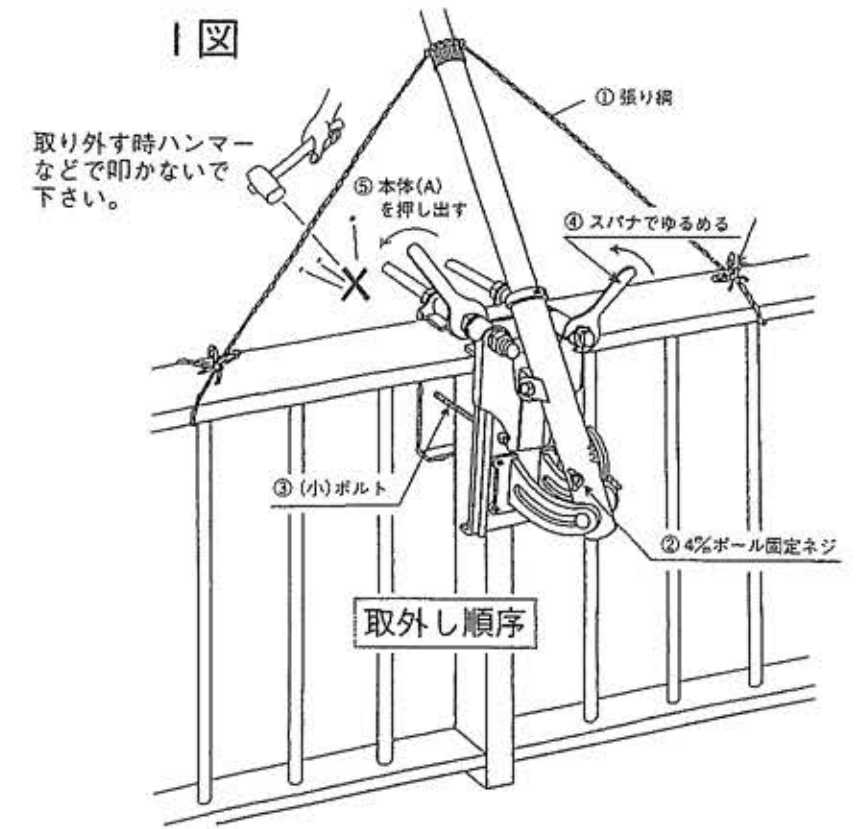


H 図



F, G図のように(小)ボルトが使用出来ないコンクリート製の場合は、必ずH図のように(風圧のゆれ防止の為)張綱をボールに縛り付け、両端を広げて固定して下さい。又、ホルダーの下へは、(小)ボルトが使えませんので、H図のようにオモリをつけて下方へ引張っておいて下さい。

I 図



収納時本体とネジがしっかり噛み込んでいますので、外側のナットのみを緩めても本体が外れにくいので、図の番号順に行ってください。

- ① まずは左右のロープをほどいて下さい。
- ② ボールの固定ネジを外しボールを抜き取ります。
- ③ (小)ボルトをドライバーにて外して下さい。
- ④ ナット左右のネジは余分に緩めます。
- ⑤ ナットをスパナで矢印の方向に本体を押し出すように廻すと、手すりから本体(A)が外れます。全体が緩んだ状態のまま取り外して下さい。

注意 取り外す時も取り付けと同じく危険ですから、下に物を落さないように注意して下さい。